

令和7年度ひみ未来づくりミーティング議事録（柳田地区）

日時 2025/7/4 18:30～

場所 西条地区集会場

出席者 31名

市長、副市長、政策統括監、総務部長、企画政策部長、市民部長、産業振興部長、建設部長、教育次長、防災・危機管理監、消防管理監、地域振興課、地域担当職員

進行 18:30～18:32 市長あいさつ

18:32～18:33 出席者紹介

18:33～19:00 市政の概要について（市長説明）

19:00～19:42 意見交換

19:42～19:43 閉会あいさつ 市長、地区代表

	質問の内容	回答
1	<p>■街区公園について</p> <p>2組と3組の間に街区公園を活用してはどうか。昔は神社の公園で遊んでいたが、今は遊ぶ場所がなく、子供中心の社会を作ろうという中で家に閉じこもるしかない状況である。街区公園の花壇とかを撤去して平地にすればボール遊びなど様々な用途で使えると思う。多目的なグラウンドがたくさんあればいいと思う。</p>	<p>■建設部長</p> <p>街区公園の利活用について、公園設備を管理者以外が設置することは可能であるが、許可が必要である。</p> <p>■市長</p> <p>ご指摘の通りであり相談させていただきたい。</p>
2	<p>■安心安全な地域づくりについて</p> <p>地震後の地域づくりをする必要があると思う。ハザードマップもどれほど住民が理解しているかわからない。避難所や指定避難所の区別なども出ていないと思われる。</p>	<p>■防災・危機管理監</p> <p>市としても6月の広報とともにお知らせしたもの。公式ラインのメニューにハザードマップ等がある。一時だけでなく、毎年続けていただくことが大事であるため、テーマをもって行っていただけなのはありがたい。</p>
3	<p>■夜警パトロールについて</p> <p>夜警パトロールを実施中。防犯面の効果が出ている。</p>	<p>■市民部長</p> <p>防犯面の対策。夜警については、防火だけでなく防犯面でも効果的。市の犯罪は45件となっており、昨年同期から9件減っている。自転車盗難が増加している。被害は駅など駐輪場で半数以上起きている。かぎが掛かっていないのがほとんどで鍵掛を呼び掛けている。自主防犯を続けていただきたい。</p>
4	<p>■感震装置について</p> <p>地震の揺れで電気が落ちる装置を要配慮者へ貸し出す予定。希望は60件以上あり、予想以上。</p>	<p>■市民部長</p> <p>感震装置については、電気、ガスなどの緊急停止に夜、通電火災を防止するもの。不在の時でも自動でブレーカーを落とせる。消防庁や内閣府からの案内もあり、震災後に普及が進んでいる。今後とも、国の情報把握に努めて対応してまいりたい。</p>

5	<p>■児童生徒の安心安全について 柳田では挨拶運動も実施。この運動と合わせてパトロールを実施。</p>	<p>■教育次長 子どもたちの交通安全のため、パトロール隊には児童の見守りを実施していただき感謝申し上げます。国・県・市との連携が必要なことから、H27に通学路安全推進会議を設置した。土木事務所や道路課などと通学路の危険個所の点検を行い、安全確保に努めている。</p> <p>■市民部長 危険な行動や違法車両に対する取り締まりは警察が行っており、見かけた場合には警察に連絡してほしい。</p> <p>■市長 様々積極的に取り組んでいただいております、心強い。市としてもできることはうかがいながら進めていきたい。</p>
6	<p>■ビューティフルパートナーについて 柳田地区でどれだけ集まるかわからないが、警察との取り締まりの関係で、条例を作る市もある。可能かどうか検討いただければ。</p>	<p>■市民部長 ビューティフルパートナーについては、興味深い。勉強させていただきたい。いろいろなことにチャレンジしようという気概が感じられ、できることを応援していきたいと思う。</p>
7	<p>■農村RMOについて 営農は思ったほど成果が出ていない。ビオトープの設置等土地の有効活用を実施したい。令和4年に地域づくり協議会で計画を策定。民泊施設や公園の設置による大型パークの設置を目指したい。成果として、補助金なしで向山線に花壇を設置。これからも心の安らぎ、休憩施設等を設けた場所づくりをしていきたい。</p>	<p>■産業振興部長 これまでも総代から相談をいただいている。RMOは国から満額交付決定が下りない。最適土地利用はら柳田に合うと認識しており、農林畜産課にご相談いただきたい。保安林は県とも協議が必要である。</p> <p>■建設部長 花壇については、心が和らぐ。道の幅員やソフト、ハードの面で様々な手法があると思う。一度道路課にご相談いただければと思う。</p>
8	<p>■防火用水について 柳田10組、窪10組と接している場所にある。防火用水があり、フェンスで囲っているが、小さな子もおり、フェンスをのぼる子も出てくるのではないかなと思う。防火用水はほとんどふたがしてあるがそこはふたがなく、何かできないかなと思う。</p>	<p>■消防管理監 フェンスの設置されているものは古い防火水槽である。フェンスの設置は蓋をつけようにもつけられないため、設置している。市内にそういったものは多数ある。それらは耐震化を図っていきたいと思っている。</p>
9	<p>■通学路について ①160号線の話だが、警察署から上田子へ向かう方は子供たちの通学路になっている。朝、夕が通学時間で、2、3時には車がスピードを出して走っている。子供たちにとって危なく、市とは管轄が違うと思うが何かできないか。 ②あとは雪が多い場合に除雪が追い付かず危険である。安全面から何かできないかなと思う。</p>	<p>■教育次長 通学路の安全については、通学路安全推進会議を設け、市と警察等で話をしている。関係各所と連携し、対策を講じていきたい。</p> <p>■建設部長 国や県にも、通学路は早く除雪してほしいということを改めて伝えていきたい。</p>

10	<p>■移住について</p> <p>地域おこし協力隊員が地域づくり協議会のメンバーとしていろいろな活動をしておられた。当時は地域おこし協力隊メンバーも氷見市になかなか定住していなかった。氷見市の人口が減る中で市外から移住してもらうためにも、柳田地区には空き家があり、耕作放棄地もあり、協議会の活動を氷見市からアピールしてもらえれば。</p>	<p>■企画政策部長</p> <p>移住については、地域の方が主体となり、地域が取り組むテーマを決めて取り組んでいる。久目は空き家をテーマにしており、空き家の掘り起こしをしている。それに合わせ、地域おこし協力隊を入れている。お金と人で地域を盛り上げていこうと取り組んでいる。論田熊無についても空き店舗を活用し、草餅を番屋へ売るといった取り組みについて補助をさせていただいている。ここにも地域おこし協力隊を入れている。地域でやりたいことの方角を決めていただき、市から応援させていただいている。柳田地区についても方向を定めてご相談いただきたい。</p>
11	<p>■城端線・氷見線再構築事業について</p> <p>現行、城端線42本。氷見線36本となっている。城端線・氷見線の直通化の本数は決まっているか。</p>	<p>■企画政策部長</p> <p>今は乗り換えが必要であるが、電車に乗ったまま氷見から城端線に乗り換えできるようになる。氷見線がいま36本のものを60本まで増や計画であるが、そのうち直通化で走る本数は決まっていない。</p>